



# カジカの学君

Vol.27

発行元 特定非営利活動法人 加治川ネット21  
 〒957-0345 新潟県新発田市小戸886-1 TEL0254-31-4111 FAX31-4088  
 ホームページ URL <http://www.inet-shibata.or.jp/~kjn21/> E-mail [kjn21@ml.shibata.ne.jp](mailto:kjn21@ml.shibata.ne.jp)

会費振込先 郵便局振替口座 00500-5-35812 株式会社第四銀行 新発田東支店 普通口座1196959

## 「私の加治川」写真を募集します！

新発田市、紫雲寺町、加治川村の合併により、加治川は、名実ともに新発田市の中心となり、新発田地域の恵みの象徴となります。しかし、下越水害によって、かつて『世界の桜』と謳われた桜堤が伐採されてからというもの、加治川は、随分と長い間人々の暮らしから遠ざかってきたように思います。

そこで、この度の合併を機に、ふるさとも見つめ直し、ふるさとの魅力を再発見しようと「私の加治川」と銘打って、往年の桜や加治川の四季、加治川流域における人々の暮らしなど、写真の今昔を問わず、流域における自然や生活文化を対象といたします。たくさんの応募をお待ちしています。

なお、事業終了までの間、事業の趣旨に賛同頂いた方々で実行委員会を組織いたします。写真の整理などのボランティアを募集しますので、お手伝いいただける方は実行委員会へお問い合わせください。

**募集要項** この事業は、地域の可能性を見つけるものです。「私と加治川」というカメラアイを大切に考え、撮影の年代は問いません。加治川流域における自然や文化を対象とします。

**写真サイズ** プリントはキャビネ以上とします。なお、写真にはコメントを付けてご応募ください。データ画像の場合は1MB程度（5MBまで応募可能）ファイル形式はJPEG、TIFF、BMP データ画像は、大きすぎると受け取ることができません。ご注意ください。

**作品賞** 大賞 1本（50,000円）  
 準大賞 2本（20,000円）  
 優秀作品賞 40本（新発田の物産）  
 審査は各分野で構成した審査員で行います。



加治川の恵み「野草」の天ぷら

**応募先** 「私の加治川」実行委員会  
 〒957-0053 新発田市中心中央町3丁目13-3  
 新発田市地域交流センター（財）新発田市まちづくり振興公社）内  
 デジカメデータ受付：[kajikawa@van-.net/camera](mailto:kajikawa@van-.net/camera)  
 携帯電話加付データ受付：[kajikawa@van-.net/keitai](mailto:kajikawa@van-.net/keitai)



**お問い合わせ** 「私の加治川」実行委員会  
 電話：090-3642-8708 担当：小柳、上村

**主催** 「私の加治川」実行委員会、NPO法人加治川ネット21

**募集期間** 平成17年**5月1日** から 平成18年**3月31日**  
 前期（H17.5.1～H17.9.30）・後期（H17.10.1～H18.3.31）終了時点で展示会を開催予定

# 05年度定期総会の報告

2月5日、新発田市ホラティアセンターで開催された定期総会には、本人19名、委任状75名が出席しました。

理事長挨拶の後、04年度の活動報告と決算報告が行われ、続いて05年度の事業計画と予算案について提案されました。05年度事業計画及び予算案について、交際費の使途及び会費額の是非等に対する質疑が出たものの、事務局から「交際費は慶弔見舞いやお土産代として支出」「会費については、無理なく入会しやすい金額としている。収入増加に向けては、会費を上げるのではなく、会員の拡大に努めていきたい」と回答し、これらの議題について異議なく可決されました。

また、この度の総会では、役員の任期満了につき事務局から役員の一部改選が提案され、満場一致で承認されました。これによって、新たな副理事に小柳繁さん、理事に田中光義さん及び小林俊之助さん、新たな監事に肥田野繁晴さんが就任しました。(総会議事内容の抜粋を下記に掲載いたします。ご覧ください)

## 第1号議案 2004年度事業報告

### 総合学習支援・講師派遣など

新発田市立米倉小学校 加治川村立加治川小学校 五泉市立五泉南小学校 など全6校  
 新発田・苜城ライオンズ「記念講演」 加治川を愛する会「加治川の桜 生育研究・勉強会」  
 新発田市「水辺から見た新発田の自然環境 講演会」

### 自主事業

2/7定期総会 5/22新発田川探訪「まちうら散策」 5/25太齋地区イバラトミヨ地元説明会  
 7/2・3イバラトミヨに関する先進地視察「秋田県千畑町」「山形県遊佐町」 7/25水辺の大楽校「ぼくらは加治川探検隊」  
 9/18加治川を食べる集い「滝谷」 12/4忘年会 など

### 受託・協力事業など

佐々木地区環境プログラム・・・水土里ネット佐々木  
 荒川水系流域連携事業・・・新潟県環境対策課  
 加治川の恵みワークショップ・・・新発田地域振興局

その他、詳細はHPをご覧ください。http://www.inet-shibata.or.jp/~kjin21/

## 04年度収支決算書

収 入		支 出	
前年度繰越金	729,435	事務運営費	1,543,615
会費収入	322,000	役員給与	120,000
事業収入	1,745,638	租税効果	46,800
寄付・補助金	694,960	その他管理費	558,880
雑収入等	6	返済金	330,000
計	3,492,039	計	2,599,295
次年度繰越金(収入 3,492,039 円 - 支出 2,599,295 円)			892,744

## 第2号議案 第3号議案 2005年度事業計画・予算

### 【加治川流域を見る】

10/8阿賀北池沼調査 4～11月 「私と加治川」写真募集

### 【加治川流域を知る】

4/17加治川流域植物観察会 4/23イバラトミヨ追跡調査 4/24加治川桜の実態調査  
 7/31 ぼくらは加治川探検隊!! 10/1イバラトミヨ追跡調査 10/23加治川流域植物観察会

### 【加治川流域を味わう】

2/20新発田川探訪『手造り味噌に挑戦!!』 5/22新発田川探訪『まちうら散策』

10/16滝谷キノコ観察会 &amp; 日本酒文化探訪

## 【加治川流域を楽しむ】

6/26人的交流・視察研修旅行 12/3忘年会

上記の事業の内容・日程は、変更することがあります。

## 05年度収支予算書

収 入		支 出	
前年度繰越金	892,744	事務運営費	1,700,000
会費収入	318,000	役員給与	120,000
事業収入	1,465,000	租税効果	100,000
寄付・補助金	500,000	その他管理費	1,280,000
雑収入等	24,256		
計	3,200,000	計	3,200,000
次年度繰越金（収入 3,200,000 円 - 支出 3,200,000 円）			0

## 第4号議案 役員改選

## 新役員

理事長：若月学                      副理事長：篠田令子                      副理事長：小柳繁  
 理事：田中光義                      理事：渡辺利道                      理事：宮野昭平                      理事：永野修  
 理事：藤田利昭                      理事：相馬広治                      理事：田代和吉                      理事：小林俊之助  
 理事：遠藤木綿子  
 監事：宮村廣                      監事：肥田野繁晴

## 旧役員

副理事長：田中光義                      理事：肥田野繁晴                      監事：佐藤ふさ子

## その他特記事項

予定されていた基調講演は、残念ながら講師体調不良のため中止となりました。

今年度、県の地域振興局が、新発田川の再生というプロジェクトを企画していますが、当会でも、会員の皆様とともに、いろいろなプログラムを企画していきたいと思っています。新発田川を舞台にこうあってほしいという夢や物語をメールでもいいのでいただきたい。3月15日にはシンポジウムも予定されていますが、来年度から本格的に活動していくのでみんなで率直な意見をぶつけていこうと思います。会員の皆様にも、ご協力をお願いします。（理事長閉会挨拶より）

## 加治川ネット21会員募集!!

加治川ネット21では、阿賀北地域をフィールドに、自然環境の保全活動やまちづくり活動などを積極的に取り組んでいます。みなさんのいろいろな想い、やってみたい事などを教えてください。あなたもNPO法人加治川ネット21に参加して、一緒に取り組んでみませんか？

## 活動内容

- (1) 環境の保全を図る活動
- (2) 文化の振興を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動
- (4) 社会教育の推進を図る活動

## 年会費

個人：2000円      企業・団体：5000円



親子で参加する環境講座などを行っています

毎月第1木曜日に新発田市ホラティアセンターで定例会を行っています。お気軽に、お出かけください。

## (財) こしじ水と緑の会 「成果発表会」

1月29日(土) 第2回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金「成果発表会」が、長岡市のホテルニューオータニ長岡で聴講者約100名を前に1時30分から行われました。

この成果発表会は、自然保護活動の更なる活性化と自然保護助成金の普及を目的として開催されました。



当日は、助成を受けた14団体中10団体の発表があり、当会は発表順で4番目。「イバラトミヨの加治川流域生息調査」と題し、藤田理事が新発田市六日町地区の継続調査と米倉地区における地元アンケートの結果、五泉トゲソを守る会と共同による六日町地区イバラトミヨのミトコンドリアDNA遺伝子調査の捕獲協力などの内容を紹介しました。

(財)こしじ水と緑の会 金子与止男理事の発表講評では、それぞれの活動に対し、良いところや疑問な点などを交え寸評をいただきました。

全体的には、環境への気づきや啓発活動の重要性などが話されました。

引き続き会場を移し、主催者と発表団体の懇親会が催されました。発表会では、団体あたり10分と限られた時間での発表だったため、概要しか話すこと、聴くことが出来ませんでした。そのため、この懇親会では各地でのすばらしい環境活動団体のノウハウなどを歓談することができ、和やかなうちに終わることが出来ました。



なお、今年申請した第4回の助成事業での助成が決まっています。



## 新発田川探訪「手作り味噌に挑戦!!」 自分の味噌! 手前味噌?



04年5月22日の「まちうら散策 新発田川に行く」で、藤田味噌麹店さんにお邪魔したとき「いつかみんなで味噌作りしたいねえ」という会話がきっかけで実施されたものです。

2月20日、新発田市がラウンジセンターに藤田味噌麹店さんを講師に迎え、16名で挑戦した味噌作り。豆は国産にこだわったものの、煮る時間がないため煮てつぶすところまでは藤田さんをお願いしましたが、みんなそれぞれ違う味のこだわり味噌を作りたいと、塩は各自で用意しました。



この味噌が醗酵し食べられるようになるのが半年後です。たとえ同じ材料で仕込んで、温度管理が違えば別の味の味噌になるそうです。

昔はこの家でも自分で味噌を作っていたそうで、家庭の数だけ味噌の味があったそうです。「手前みそではありますが...」と言うのは、自慢をすることだそうですが、味噌の味自慢から始まったのでしょうか。

反省会では「半年後それぞれの味噌を持ち寄って、焼きおにぎりにして食べたいねっ」と早くも次回の企画案(?)が出てきました。今から、半年後が楽しみです。

## 新発田市まちづくり活動支援事業審査会

3月6日(日)、平成16年度 新発田市まちづくり活動支援事業審査会が新発田市生涯学習センター講堂において開催され、事業申請した12団体が活動状況を発表し審査を受けました。

当会は、12団体の先頭を切って若月理事長が発表。

「平成16年度水辺の大楽校事業紹介」の演題で、地域の宝探し「天辻川イバラトミヨ調査」、地域再発見「新発田川まちうら散策」、地域創造事業「古太田川に夢をたくす」、学校教育支援「総合的学習への取り組み」、親子自然体験「清流、加治川探検」の項目で事業を紹介し、加治川探検隊!!の発表では、加治川探検に参加した子どもたちが、紙芝居を作って当日の様子を臨場感たっぷりに紹介してくれました。この審査では、上位6団体に新発田市から「支援金」が贈られるというもの。



今回参加した団体は、リサイクルや環境保護に関する活動、地域の交流や活性化に関する活動等、それぞれの目的意識を持つものでした。加治川ネットも含めた12団体の発表は非常に興味深く、自分たちのまち、新発田や地域への思い入れが感じられました。

まだまだ自分の知らないところで多くの人達が一生懸命まちづくりに取り組んでいるんだなあ・・・と感心



するやら嬉しいやら。まちづくりを進めるにあたって、こうした市民団体の活動はさらに活発になっていって欲しいし、また、新発田市の進める協創のまちづくりに必要不可欠だと痛感しました。今後は、それぞれの団体がうまくネットワークを持って協力し合えるようになると、さらに大きな活動に広がると思います。行政も様々な形で支援し続けていただきたいと思います。

最後に、10分という時間制限の発表では時間が足りず、全てを発表できなかった我が加治川ネットでしたが、見事入賞を果たし、支援金をいただくことができました。

### 新たに入会されたみなさんをご紹介します。

#### 法人会員

- ・新潟グリーンテック(株)さん(加治川村)

#### 個人会員

- ・伊野 清花さん(新発田市) ・佐藤 浩雄さん(新発田市) ・皆川 敏伸さん(新発田市)



## ～新発田川を見直し、そして再生させる～ 新発田川再生物語シンポジウム

3月13日(日)新潟県(新発田地域振興調整会議)主催の新発田川再生物語シンポジウムが新発田市地域交流センターを会場に70数名の参加で開催されました。

第1部「新発田川の今昔」と題した川瀬勝一郎氏(新発田市文化財調査審議会委員長)の講演では、新発田城を取り巻く形で本丸、二の丸、三の丸と水路が張りめぐらせていたこと、武家と町人、川を隔て町並み、田園が形成れて、江戸の時代から少なくとも大正時代までは水路の原型を留めていたこと、新発田川は、領地からの米の荷上げや北前舟などの物流に大きな役割をしていたことなどの話に加え、当時、舟入町付近で米150俵積みの舟が入っていた事を考えると新発田川は川幅も広く、水深もあったと推測される等など、興味深い話でした。



### ～一般参加者から次のような意見が出ました～

- 鉄道や自動車などの陸路の発達によって、新発田川に頼っていた舟運交通がなくなった。これからの新発田川が果たす役割を明確にしたうえで新発田川の再生を図っていくことが重要であり、はやり物だけに流されない事が大切である。
- 新発田川再生も近い将来現実になる事だろう。新発田川を見るために「新発田」に行きたいという時代へ向けての一步が踏み出されたと感じた。



### ～これでいいのか～

## 新発田まちなみシンポジウム

4月2日(土)城下町の景観を考える会の主催により「新発田まちなみシンポジウム」が開催され、新発田市生涯学習センターの多目的ホールには入りきれないほど大勢の人々が集まりました。



はじめに伊達義徳さん(都市計画家)の基調講演が行われました。

伊達さんは、「新発田市でも中心市街地に良い景観が残ってはいるものの、利用されずに失われつつある。市街地への導入部となるべき郊外部に醜い景観(店舗群)が形成されている」と指摘。そして、このような「あんこは(中心)は美味いが皮(外部)が不味い」景観をもう一度見直し、歴史と食料をキーワードに、緑豊かで皮も美味しい新発田らしい景観の形成を目指してほしいと語りました。

続くパネディスカッションでは、「新発田の景観とは」や「景観を守るためにはどうしたらよいか」といった幾つかの質問にそれぞれの思いを発表する形で行われました。

「歴史や文化が見える町にしたい」「住みやすいまちを目指そう」「新発田の人は新発田のことを知らず、見慣れていて良いものを良いと感じないのではないか。もう一度地域を見直そう」といった意見が多くありました。

若林さんからは、「新発田市の景観を語るうえでは、新発田川が重要な要素と言える。また、河川の水質は地域の生活水準を示すものでもあり、新発田川の再生が望まれる」との発言もありました。

加治川ネット21でも、新発田川を中心としたまちづくりについて考えていく必要があるのではないのでしょうか。これからも、私たちに出来ることを探していきたいと思います。



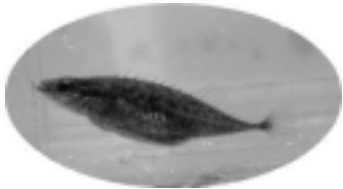
まちづくりは地域の宝探しがキーワード

## ☆ 今後の事業案内 ☆

### イバラトミヨ追跡調査

湧水がないと生息できないといわれるイバラトミヨが生息できる環境は、理想的な農村環境といえます。イバラトミヨの生息は「新発田市」の環境指標となり、農産物における安全・安心のシンボルに成り得るものと考えています。六日町地区・太斎地区で生息状況を調査を行います。みなさん、参加しませんか？


記

と き	4月23日(土) 集合9:00分	
集合場所	新発田市太斎 虹の交流館駐車場	
講師	藤田利昭氏(加治川ネット生き物担当)	
参加費	無料	
実行可否	小雨決行、大雨中止順延	
申込・問合せ先	加治川ネット21 電話:0254-31-4111 Eメール:kjn21@ml.shibata.ne.jp	

### 加治川の桜堤育樹勉強会

かつて世界一といわれた「加治川長堤十里の桜並木」は果たして復活するのでしょうか？現在の加治川の桜堤の桜の育成状況の確認と枯れ桜の原因を科学的にさぐるため、病虫害や土壌問題など実態につて広範な市民と共に桜の実態を検証いたします。どうぞ、お気軽にご参加ください。

記

と き	4月24日(日) 集合9:45分	
集合場所	新発田市西名柄頭首工駐車場(加治川左岸側)	
講師	田中光義氏(新潟県緑のアドバイザー)	
参加費	無料	
実行可否	小雨決行、大雨中止順延	
申込・問合せ先	加治川ネット21 電話:0254-31-4111 Eメール:kjn21@ml.shibata.ne.jp	

## 新発田川探訪『まちら散策』 知られざる町の魅力を探して！

『新発田』といえば、すぐに新発田城や清水園が浮かびますが、案外よそから来た方が珍しかったり、興味を示したりするものを私たちはじっくり見たことがありません。まちら散策は歴史探訪ではありません。


歩いて発見する町のこころです。そぞろ歩きながら古の人の知恵、町の暮らしや美しさなどをタウンウォッチングしてみませんか。美味しいもてなしの楽しみ、歩いたあとは、美味しい『高砂』さんのお弁当で舌鼓。

ご家族やお友達と一緒に、ぜひ、ご参加ください。




日時・場所 平成17年5月22日(日)8時45分受付開始 新発田市地域交流センター駐車場  
 参加費 2,000円 定員35名 受付は4月20日～5月10日(定員になり次第〆切ます)  
 申込み 電話・FAX又は、Eメールで加治川ネット21事務局 担当：江口  
 電話：0254-31-4111 FAX：0254-31-4088 Eメール：kjn21@ml.shibata.ne.jp  
 主催 NPO法人 加治川ネット21・新発田地域振興局  
 散策コース 9時 地域交流センター駐車場 = 裁判所『ふとん掛けの松』 = カトリック教会 = 掛け蔵・新道 = 大倉喜八郎生誕の地 = 新発田川 = 萬盛社 = 高砂『昼食』

### いじみの植物の会1周年記念講演 ～五十公野丘陵について～

講師：石沢進  
 と き：4月17日(日)午前8時半～  
 ところ：新発田市ボランティアセンター  
 参加費：無料  
 主催：五十公野植物の会   
 問合せ：いじみの植物の会  
 佐藤 0254-24-6979

### 五十公野植物観察会

サクラやスミレが咲きそろう五十公野公園を散策します。一緒に、春の七草を探してみませんか。

と き：4月17日(日)午前9時  
 ところ：サンワークしばた・升湯前  
 参加費：会員無料、会員外300円(資料代)  
 問合せ：いじみの植物の会 佐藤 0254-24-6979  
 主催：いじみの植物の会・加治川ネット21 



## 加治川ネット21の活動 2005年1月1日～3月31日

#### 1月の事業

1月6日 1月定例会  
 1月19日 いいがた市民環境会議：第2回環境学習会 参加  
 1月20日 新発田川再生ネットワーク検討会 参加  
 1月24日 加治川の恵み事業推進委員会 出席  
 1月29日 こしじ水と緑の会自然保護助成基金成果発表会 出席

#### 2月の事業

2月5日 NPO法人加治川ネット21「05年度定期総会」開催  
 2月14日 生物多様性保全ネットワーク新潟 参加  
 2月20日 新発田川探訪「手作り味噌に挑戦!!」開催  
 2月21日 加治川の恵み事業推進委員会 出席

#### 3月の事業

3月1日 「加治川の恵み事業」個別事業打合せ 出席  
 3月3日 3月定例会  
 3月6日 平成16年度まちづくり活動支援事業審査会 出場  
 3月8日 社会システム研究所「講演会」参加  
 3月13日 新発田川再生生物語シンポジウム パネー出席  
 3月15日 新潟県水環境保全を考える懇談会 参加  
 3月25日 イバトミヨ調査依頼 久保地区長、太高地区長  
 3月25日 水土里ネット佐々木 受託事業成果品提出  
 3月31日 理事会開催